

図1 神奈川県とその周辺地域の地震活動

(震源決定は、当所データの他に東京大学地震研究所、防災科学技術研究所および気象庁の地震波形データを利用しています。なお、図中、白丸は過去6ヶ月の震源、赤丸は今月の震源を示す。)

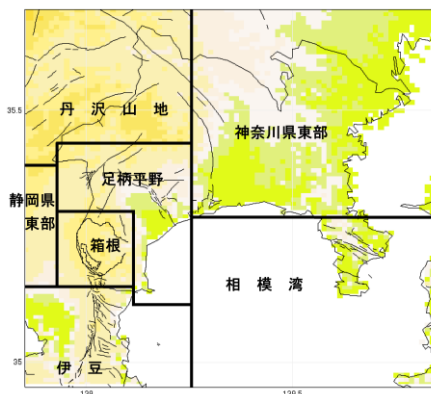


図2 表1に対応する地域区分(深さは50kmまで)

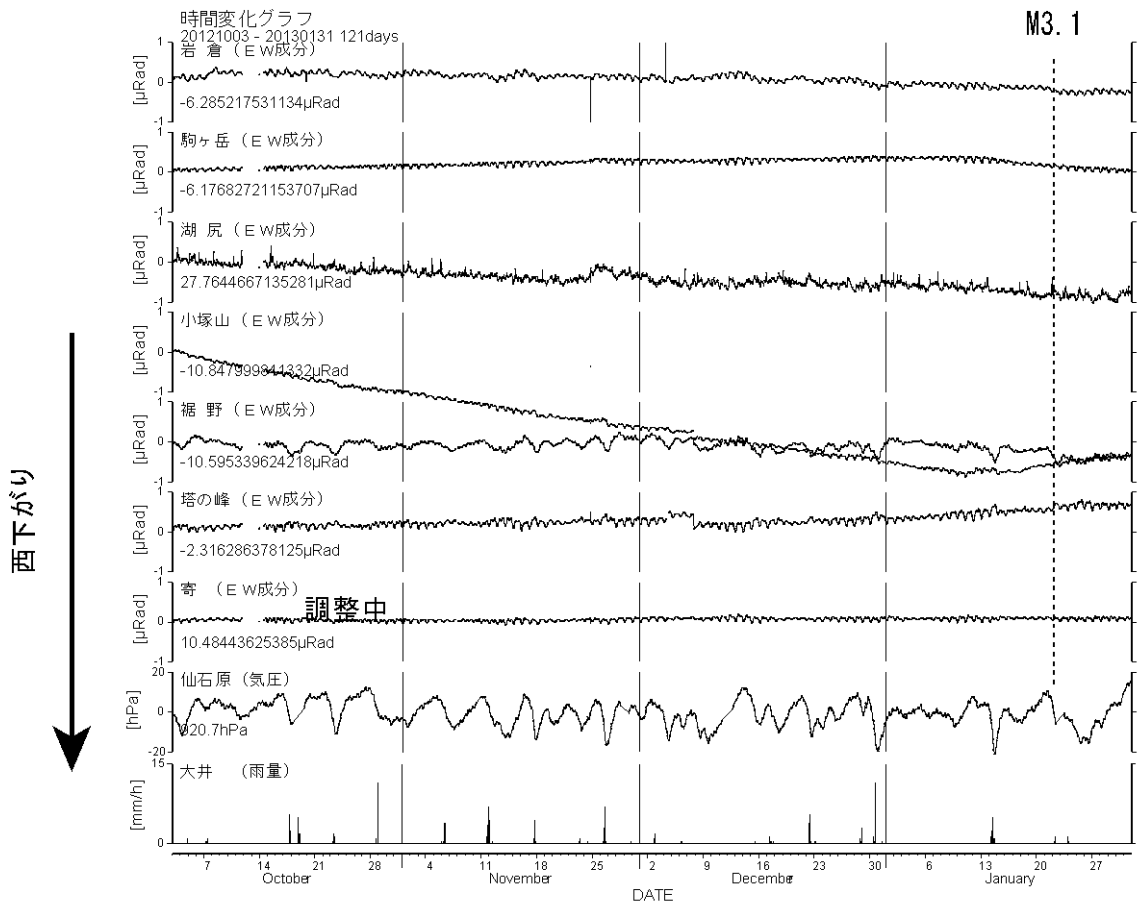
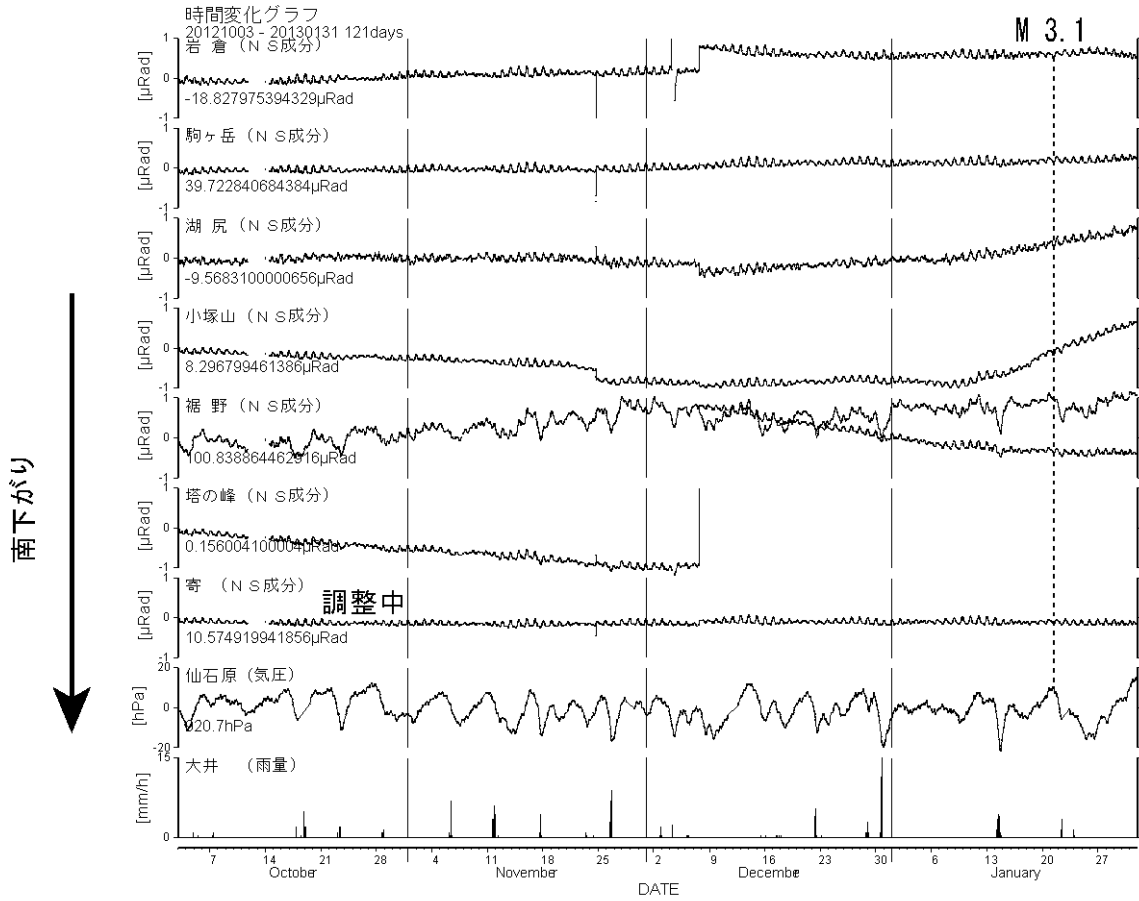


図3 傾斜計記録 (2012年10月1日から2013年1月31日) 上: 南北成分 下: 東西成分
最大地震 [1] 013年01月22日11時51分 深さ24.15 km M3.1 (丹沢)

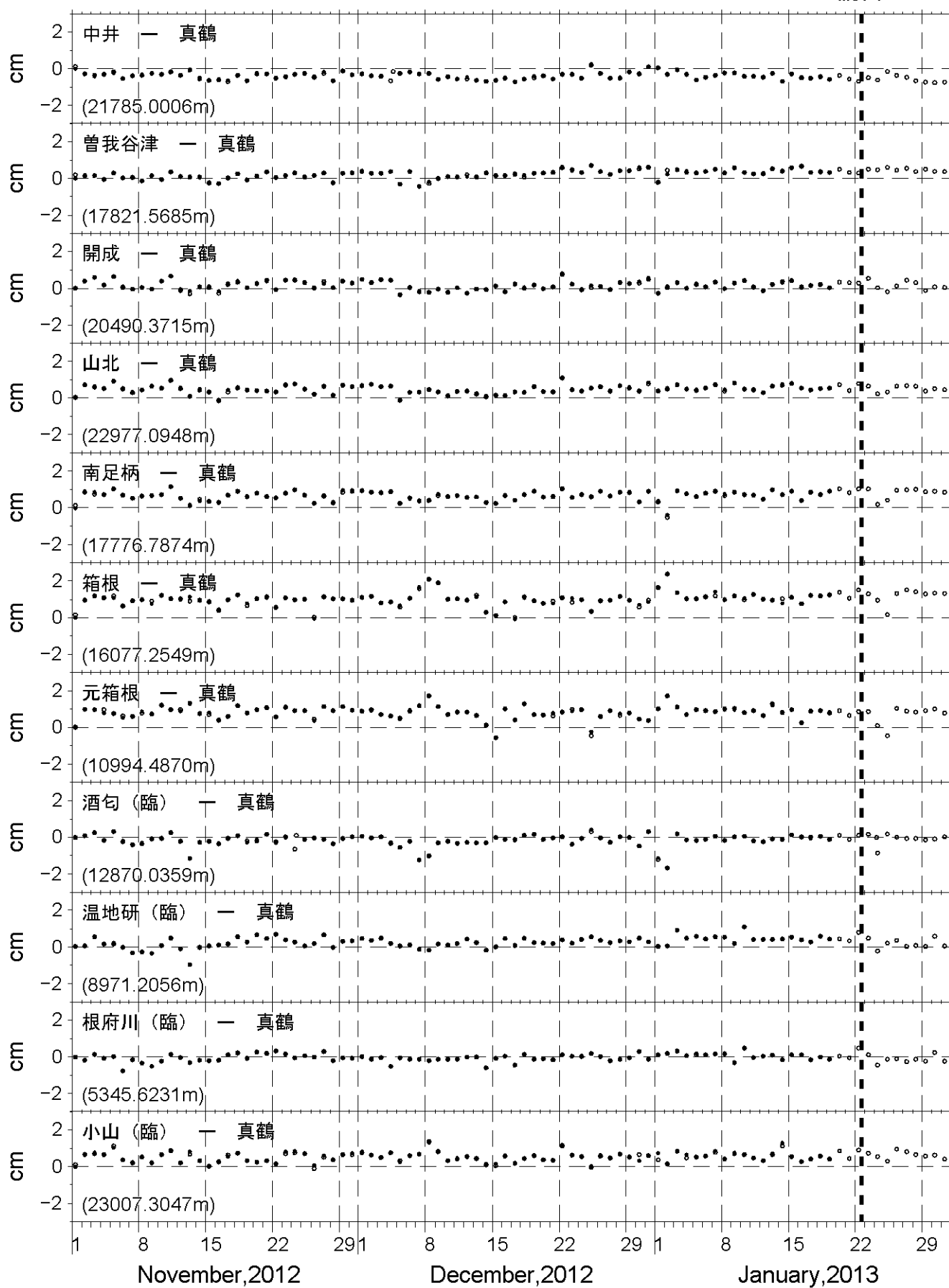


図4 GPS測量観測結果 (2012年11月01日～2013年01月31日)

真鶴観測点を中心とした、各観測点の基線長変化。●は精密歴、○は放送歴による解を示す。小山観測点は、(独)防災科学技術研究所との共同研究による観測点である。

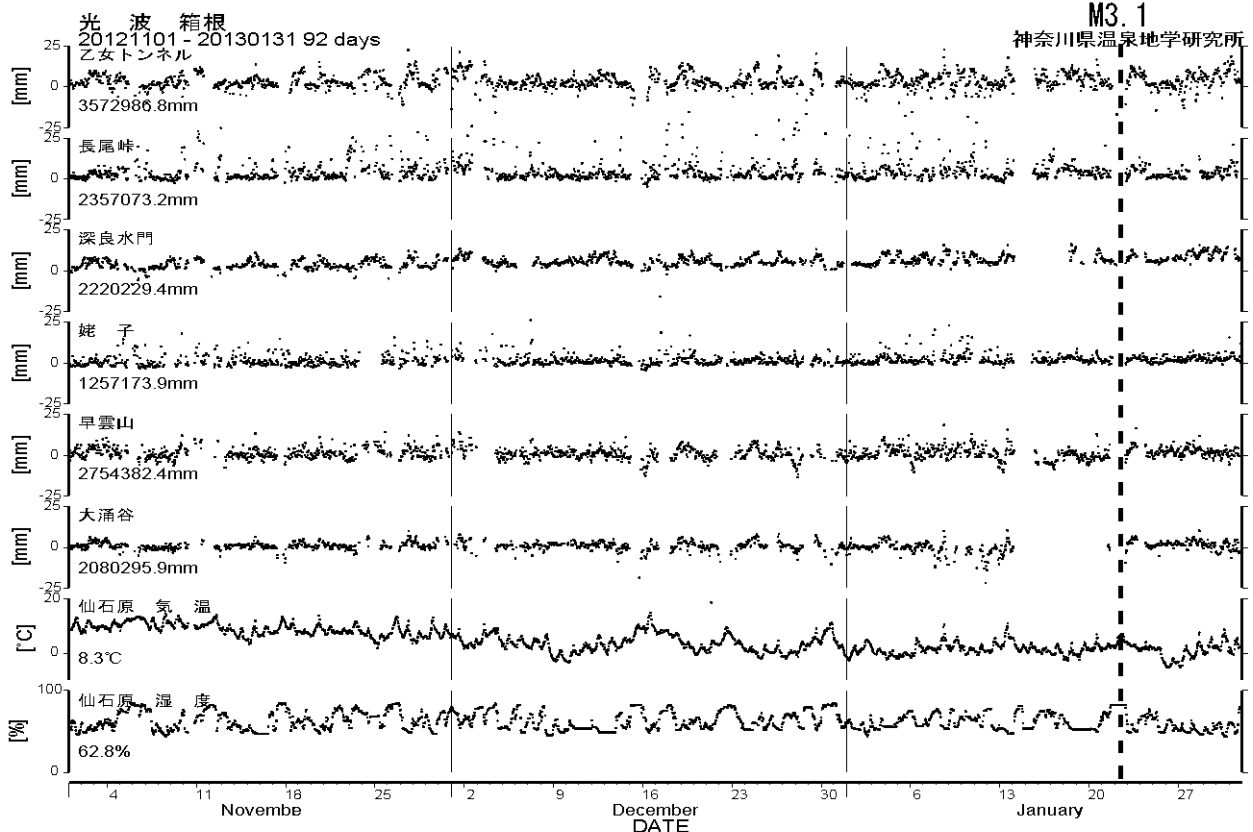
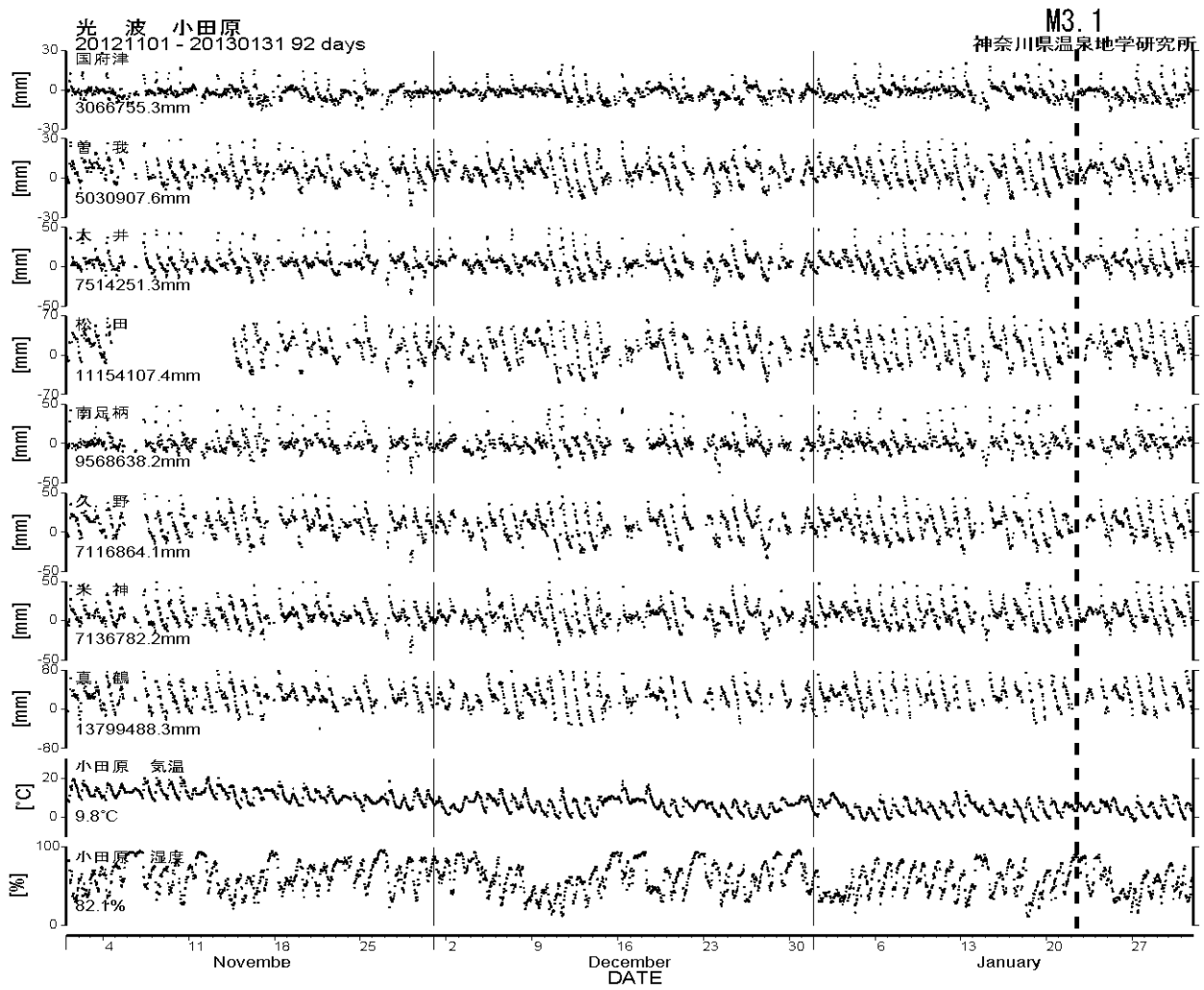


図5 光波測量観測結果（2012年11月01日～2013年01月31日）
上：小田原観測網、下：箱根観測網

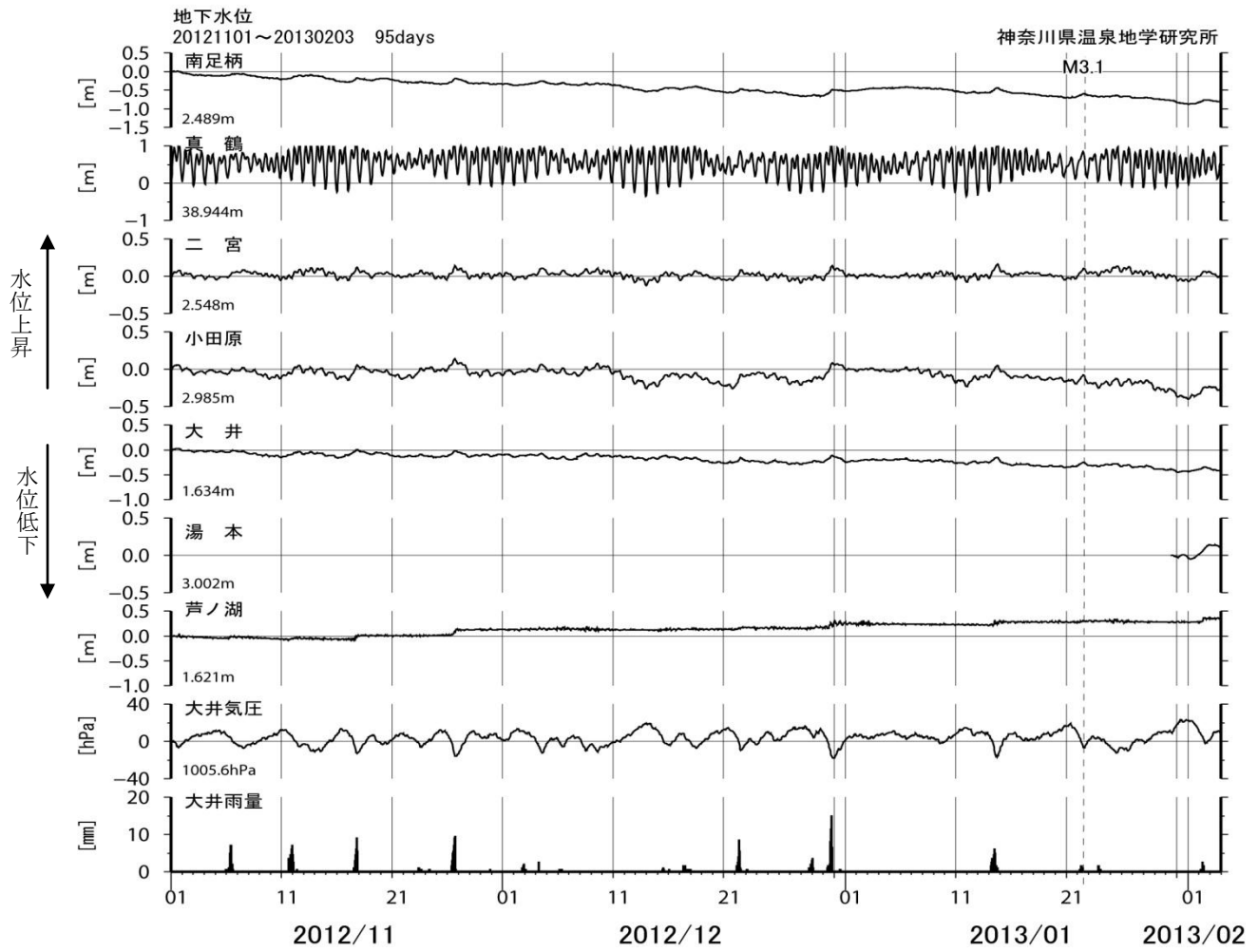


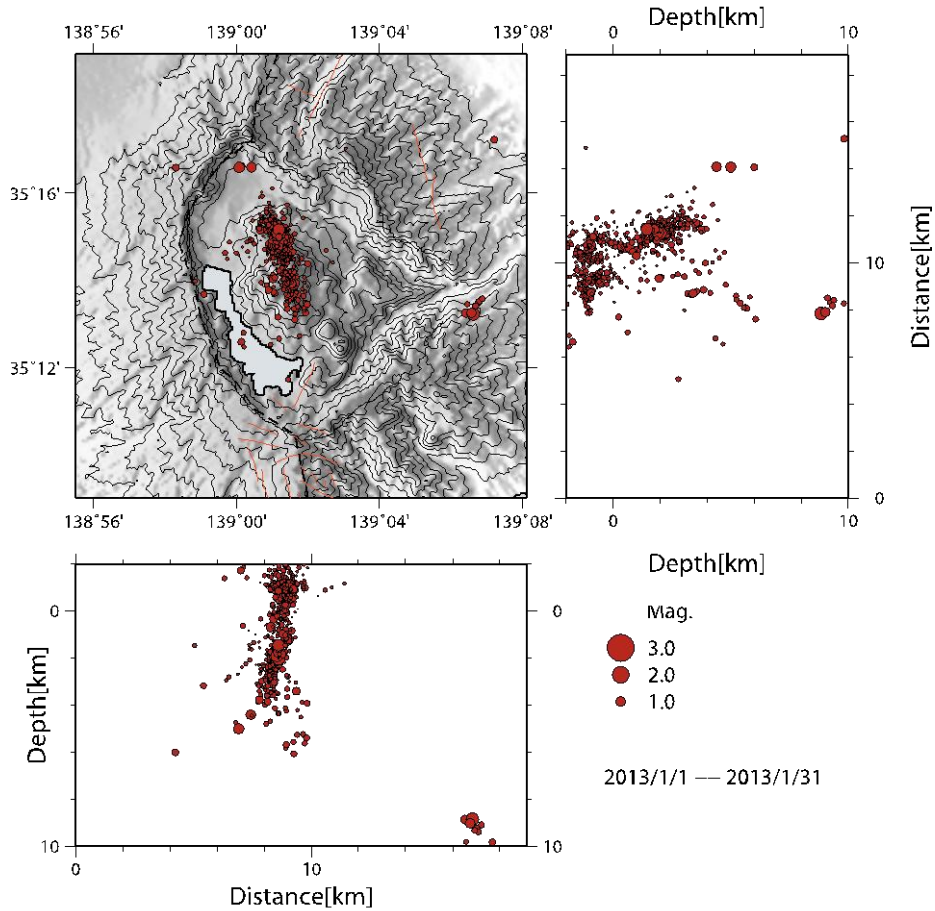
図6 地下水位観測結果(2013年1月)

4. 箱根火山の群発地震活動

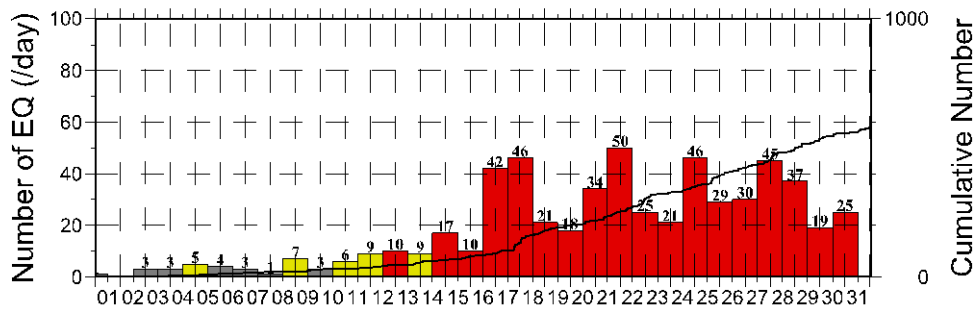
1月上旬より地震数が増え始め、17日ごろから急激に増加しています。ただし、地震の規模は非常に小さく、M1以下のものが9割を占めます。

地震の活動域は、大涌谷から駒ヶ岳にかけての地域で、駒ヶ岳周辺で比較的浅い場所で発生し、大涌谷周辺では深さ4km付近まで震源が分布しています。

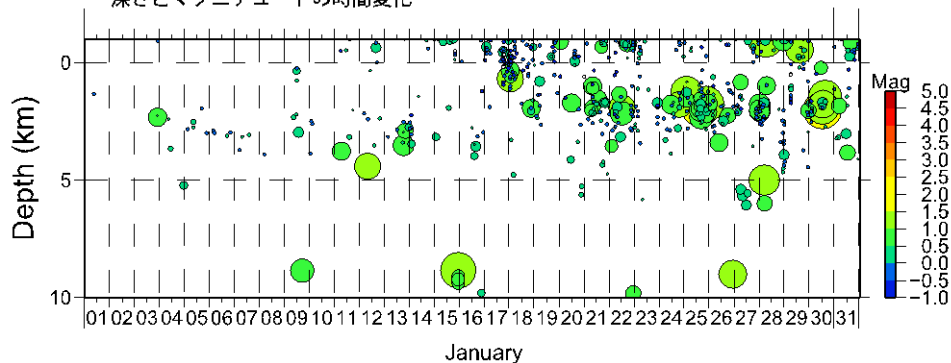
1月31日現在最大の地震は1月25日15時52分ごろと1月30日12時53分ごろに発生したM1.5の地震です。



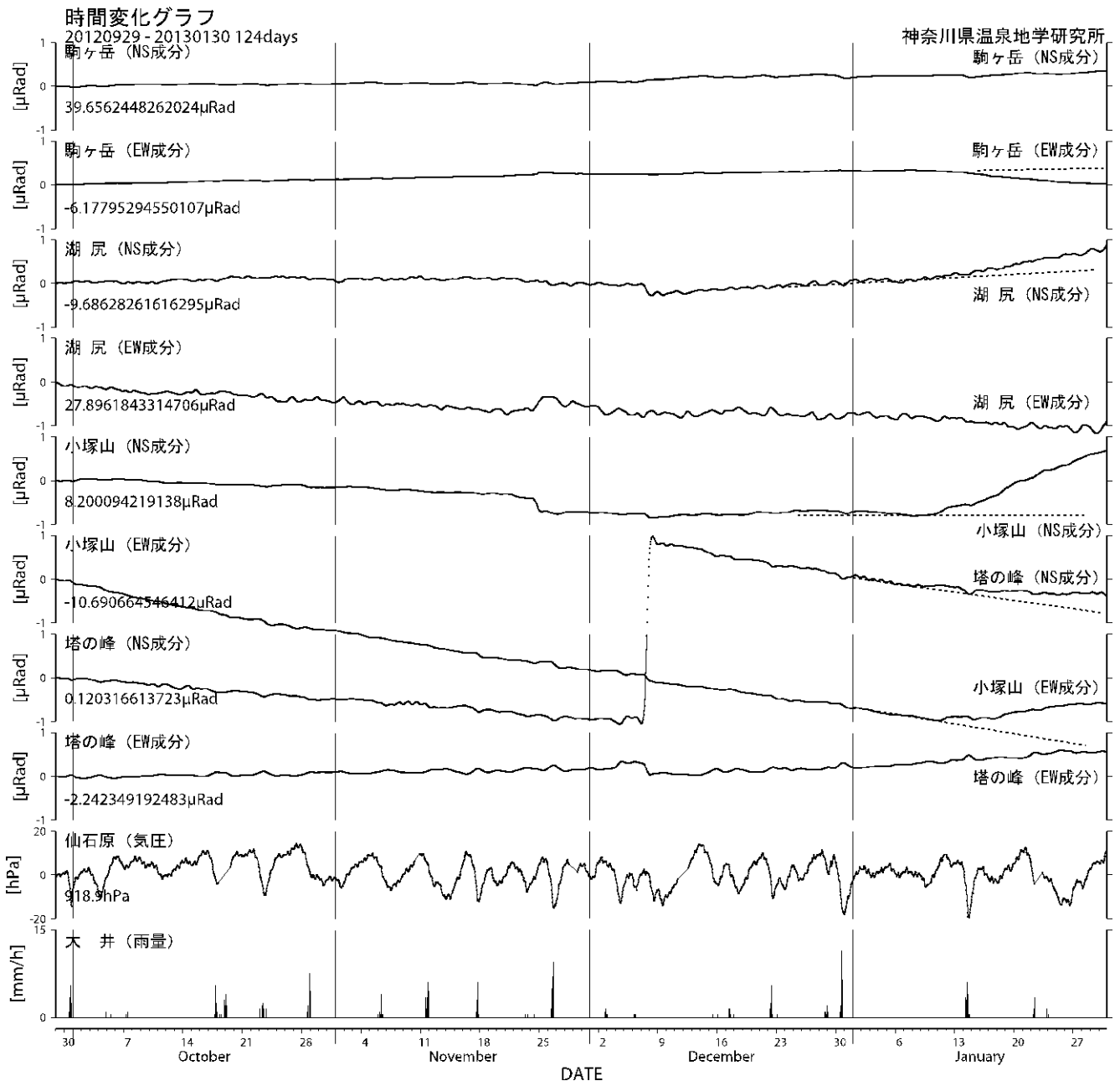
1日毎の地震発生数と地震積算回数



深さとマグニチュードの時間変化



箱根の傾斜変動グラフ（潮汐補正済み）



1月11日前後から、駒ヶ岳、湖尻、塔の峰、小塚山で傾斜記録が変化しているように見えます。